



2019年4月26日

各位

上場会社名 株式会社 商船三井
 代表者 代表取締役 社長執行役員 池田 潤一郎
 (コード番号 9104)
 問合せ先責任者 コーポレートコミュニケーション部長
 中西 慶一郎
 (TEL 03-3587-6224)

「2019年3月期通期業績予想と実績値の差異」
 及び「剰余金の配当」に関するお知らせ

2019年1月31日に公表しました2019年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績において差異が生じたので下記の通りお知らせ致します。また、本日開催の取締役会において、2019年3月期の期末配当について、2019年6月25日開催予定の当社定時株主総会に下記の通り提案することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値との差異について

(1) 2019年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異(2018年4月1日~2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,210,000	35,000	28,000	21,000	175.60
実績値(B)	1,234,077	37,718	38,574	26,875	224.72
増減額(B-A)	24,077	2,719	10,575	5,875	
増減率(%)	2.0%	7.8%	37.8%	28.0%	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	1,652,393	22,684	31,473	△47,380	△396.16

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っているため、前期実績の「1株当たり当期純利益」は、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

(2) 修正の理由

一部の持分法適用関連会社において、税制改正に伴い税効果会計の評価見直しを行った結果、持分法投資損益が改善したことに加え、海洋事業においてFPSO(浮体式石油・ガス生産貯蔵積出設備)の稼働日数が増加したこと、油送船市況が堅調に推移したこと、コンテナ船事業統合に伴う一時費用の低減等により、連結経常利益は前回発表から上振れて着着しました。

2. 期末配当について

(1) 内容

	決定額	直近の配当予想 (2019年1月31日発表)	前期実績 (2018年3月期)
基準日	2019年3月31日	同左	2018年3月31日
1株当たり配当金	25円00銭	20円00銭	10円00銭
配当金の総額	2,989百万円	—	1,195百万円
効力発生日	2019年6月25日	—	2018年6月26日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は連結配当性向 20%を目安として業績に連動した配当を行うことを方針としております。2019年3月期通期連結業績を踏まえ、株主への利益還元、当社内部留保などを総合的に勘案し、前回公表において20円00銭としていました期末配当を1株当たり25円00銭と致します。これにより年間の配当金は1株当たり45円00銭となる予定です。

以上